安全データーシート（ＳＤＳ）

作成:2020年10月30日
改訂:2024年04月23日

1. 製品及び会社情報

製品名　ハードワックスプラス ブラック ＳⅡ

供給者情報

会社名	株式会社ユーエスシー
住所	〒183-0044 東京都府中市日鋼町 1-1
	ヒューリック府中タワー12 階
担当営業部門	営業１部
電話番号	0423510011
FAX 番号	0423510010
用途	防錆保護
使用上の注意	**上記用途以外には使用しないでください。**

製造事業者等の情報

主用途	防錆保護
会社名	ワックスオイルジャパン株式会社
住 所	〒108-0023 東京都港区芝浦 3-7-13-404
電話番号	03-6811-5620
FAX 番号	03-6811-5622

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分３
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(気体)	区分に該当しない
	急性毒性(蒸気)	分類できない
	急性毒性(粉じん)	分類対象外
	急性毒性(ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分２
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(循環器系) 区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	区分1
環境に対する有害性	水生環境急性有害性　短期(急性)	区分に該当しない
	水生環境慢性有害性　長期(慢性)	区分３

絵表示又はシンボル:

注意喚起語: 警告

危険有害性情報:
・引火性の液体及び蒸気(H226)
・強い眼刺激(H319)
・眠気やめまいのおそれ(H336)
・長期的影響により水生生物に有害のおそれ(H412)

注意書き:

【一般】
・医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。(P101)
・子供の手の届かないところに置くこと。(P102)
・使用前にラベルをよく読むこと。(P103)

【安全対策】
・熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙(P210)
・容器を密閉しておくこと。(P233)
・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241)
・火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
・静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)
・取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
・環境への放出を避けること。(P273)
・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】
・皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。(P303＋P361＋P353)
・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304＋P340)
・気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305＋P351＋P338)
・眼の刺激が続く場合:医師の診断／手当てを受けること。(P337＋P313)
・気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

【保管】
・換気の良い場所で保管すること。容器を密栓しておくこと。(P403＋P233)
・施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】
・内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3.物質の特定

単一製品・混合物の区別 : 混合物成

分及び含有量 :

成分	含有量(%)	化審法 No.	CAS.No.	備考
イソパラフィン系炭化水素(C9～C11)	40～85	(9)-1690	64742-48-9	
石油スルホン酸カルシウム	5～10	(9)-1732	61789-86-4	
リン酸＝(モノ.ジ)アルキル(C=11～14、分枝、直鎖)エステル	1～3		154518-38-4	
イソトリデシルアルコール	1 以下		68526-86-3	

4.応急処置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の

診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚を速やかに洗浄すること。
医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合 : 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外すこと。その後も洗眼を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせず、口を水ですすぐこと。医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状 : 高濃度ばく露では、眼、鼻、のど、気管、肺の刺激を引き起こす。

及び遅発性症状 頭痛、協調運動不能を引き起こす。

皮膚への長期のばく露では、皮膚炎を引き起こす。

最も重要な兆候及び症状 : 情報なし

医師に対する特別な注意事項 :化学性肺炎の症状は 2～3 時間経過するまで現れない場合が多く、身体的な負担により悪化する。

したがって安静と経過観察が不可欠である。

応急処置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具(有機溶剤用の防毒マスク)を着用すること。

5.火災時の措置

消火剤 : 小火災:二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
:大火災:散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤使って

はならない消火剤 : 棒状注水

特有の危険有害性 : 燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。引火性の液体及び蒸気。

特有の消火方法 : 区域より退散させ、爆発の危険性により遠くから消火する。作業は風上から行うこと。
散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。
関係者以外の立入りを禁止すること。
作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸引を避けること。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用すること。
風上に留まること。
低地から離れること。
密閉された場所は換気すること。

環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。環

境中に放出してはならない。

回収: 少量の場合はウエス等で拭きとり、その後漏洩区域を洗剤で洗浄した後、水で洗い流す。
多量の場合は土砂等で流れを止め出来る限り回収し、残分はウエス等で拭きとり、その後漏洩区域を洗剤で洗浄した後、水で洗い流す。

二次災害の防止策: すべての発火源を速やかに取り除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い技術的対策

ばく露防止:取扱いは、換気の良い場所で行うこと。
取扱い場所近くに、緊急時に、洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置すること。漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させないこと。
発散した蒸気を吸い込まないようにすること。 屋外での作業は、できるだけ風上からすること。取扱いの都度容器は密栓すること。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。取扱い後は、手、顔等を良く洗いうがいをすること。

火災・爆発の防止:周辺での高温物、スパーク、火気の使用をさけること。

その他の注意事項: 容器の転倒、落下、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。取り扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱うこと。

安全取扱事項:炎、火花、若しくは高温体との接触又は過熱を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。

保管

適切な保管条件:子供の手の届かないところに施錠して保管すること。
直射日光の当る所、温度が 40℃以上又は 0℃以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けて保管すること。
容器を密閉して正立で保管すること。 火気、熱源より遠ざけること。火気厳禁車載保管しないこと。

容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度/許容濃度

成 分	管理濃度	許容濃度
イソパラフィン系炭化水素(C9～C11)	未設定	未設定
石油スルホン酸カルシウム	未設定	未設定
リン酸＝(モノ.ジ)アルキル(C=11～14、分枝、直鎖)エステル	未設定	未設定
イソトリデシルアルコール	未設定	未設定

設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具 :

呼吸器の保護具 :有機溶剤用防毒マスク又はそれ以上の性能のマスク手
の保護具 :ゴム手袋
眼の保護具 :ゴーグル型一眼眼鏡
皮膚及び身体の保護具 :作業着、ゴム長靴、ゴム前掛け等を使用

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は石鹸でよく手を洗うこと。

9. 物理／化学的性質

外観・臭気	：黒色液体で特有の臭を有する
pH	： データなし(測定できない)
粘度(20℃)	： 370 ｍ Ｐａ・s 以下
沸点	： 145℃
凝固点	：データなし
揮発性	： データなし
引火点	： 29℃(DIN53213)
発火点	： 200℃以上
爆発範囲	： 爆発限界 下限 0.6、上限 7.0(vo1%)
可燃性	： 有り
密度(20℃)	： 0.86g/㎤ (DIN51757)
溶解性(水)	： 不溶

10. 安定性及び反応性

安定性	:通常状態では安定である
反応性	:通常保管では反応性はない。酸化剤と接触して反応する。
避けるべき条件	:高温、火花、裸火
避けるべき材料	:データーなし
危険有害な分解性生物	:一酸化炭素、二酸化炭素、二酸化ケイ素及び不完全燃焼ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性:	データなし
皮膚腐食性・刺激性:	データなし
眼に対する重篤な損傷/刺激性：	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	
呼吸器:	データなし
皮膚:	データなし
生殖細胞変異:原性:	データなし
発がん性 :	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器・全身毒性: (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性: (反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性:	データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	データなし
水生環境慢性有害性:	データなし

13. 廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

注意事項:取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

国際規制:

国連番号 : 1139

クラス : 3

容器等級 : Ⅲ

指針番号 : 127

国内規制:

陸上輸送 : 消防法、労安法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき有害物質 :該当なし

名称等を通知すべき有害物質 :該当なし

有機溶剤中毒予防規則 :該当なし

消防法 : 危険物 第四類 第2石油類(非水溶性) 危険等級Ⅲ

毒物及び劇物取締法 : 該当なし

PRTR法 : 該当なし

その他

主な引用文献:

1. 各原料メーカーの MSDS 、SDS
2. 安全衛生情報センターMSDS、SDS
3. JIS Z 7252、7253
4. その他法規

記載内容の取扱い:記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、注意事項通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

[会社情報]

販売者：青森スズキ自動車販売(株)
所在地：青森市新城平岡397-20
TEL:017-781-3311